

体感！体験会「防災ツアー」を開催

協豊会関東地区では、11月7日（月）に、東京消防庁 本所防災館（東京都墨田区）において、参加者各位に各種災害の模擬体験をして頂く「防災ツアー」を開催しました。

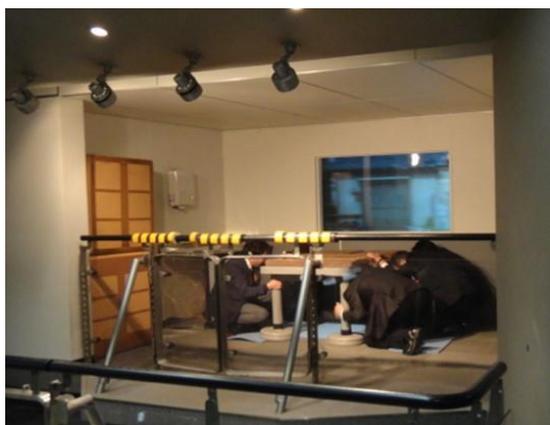
ここ数年来、各地で頻発している地震、火山噴火、水害・洪水などの自然災害、或いは火災や交通事故など人命に関わるアクシデントへの遭遇に備えて、「模擬災害を体験しながら学び、もしもの時の防災行動力を身につける」ことを狙いにして今回の企画を実施しました。



【東京消防庁 本所防災館】

当日は初冬とも思える冷たい北風の吹く一日となりましたが、関東地区会員会社からの42社に加えて、協豊会事務局の大村局長殿、東海地区・関西地区からもご参加をいただき、総勢47名での防災ツアーとなりました。

まず、最初に全員で、「東日本大震災で我々は何を学んだのか？」をテーマにした迫力の大映像と音響による「防災シアター」を観た後に、二班に分かれて各種災害の体験コーナーを巡り回りました。



【激震では身体を屈めて守るのが精一杯】



【水位が僅か10cmでも簡単には開かない】

■地震体験コーナー

震度7の直下型地震では身動きがとれず、立っていることさえもできない物凄い揺れとなり、その恐ろしさを体験しました。

■都市型水害体験コーナー

地下室や掘下げ立体交差路（アンダーパス）で水に浸かったクルマは、僅か数10cmの冠

水でも、ドアの重みが数 10kg となり、ドアが殆ど開けられなくなることを体験しました。



【チーム力発揮で無事に鎮火】



【AED が到着するまで胸骨圧迫を続けること】

■消火体験コーナー

大型スクリーンでシミュレートされた炎を目標けて本物の消火器を向けました。各 5 名でチームを組み、各チームとも無事に鎮火に成功しました。また、会社や工場などの建物に設置されている屋内消火栓の仕組みと操作方法についても教えて頂きました。

■応急手当体験コーナー

訓練用の人形が相手ではありますが、最新の心肺蘇生法と実機を使っての AED の操作方を体験しました。AED には初めて触る人も多く、最初は少し緊張気味でした。



【防災ツアーに参加された皆様】

このように防災シアターから始まり、各体験コーナー巡りの終了まで約 110 分のツアーでしたが、参加者には災害の模擬体験と AED や消火器を実際に操作する体験を通じて、日頃は忘れがちな各種災害について改めて認識をすることとなり、防災への知識を学ぶ絶好の機会となりました。

関東地区では参加者が自ら体験、体感して頂ける場や機会として、今後も体験参加型のグループ活動を企画し、実施して参りたいと思います。